

役員立候補者等 公示

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	ひらた あつし 平田 淳	性別	(男) 女	生年月日	西暦 1974年 8月 27日	年齢	44歳
勤務先名	社会福祉士事務所たりたり						
会員番号	39968	市町村	旭川市				
主な活動歴	2011年社会福祉士資格取得、2012年4月旭川にて成年後見受任専門の社会福祉士事務所を独立開業。成年後見等、通算40件を受任の他、道内各地の市民後見人養成等講師を担当。会内活動として、2012年被災生活保護受給者生活再建サポーター事業支援員就任、のち生活困難者支援委員会委員として「困りごとなんでも相談会」を2014年から定期開催。2017年6月からぱあとなあ北海道及び生活困難者支援委員会担当理事。						
立候補理由・抱負	理事1期目を経験し、積み残した課題が3点あります。①成年後見制度利用促進計画が制定され、専門職関係団体として地域の協議会等との積極的な連携が求められていますが、道内各地域によって進捗が異なり、具体的な連携ができていない地域へどのような協力が可能か検討し実践すること、②権利擁護の実践者たる社会福祉士にとって、「優生思想」に対抗する価値や倫理がつねにすでに求められていますが、委員会としてハンセン病問題を風化させないための取組や、旧優生保護法下における強制不妊手術問題への関わりは緒に就いたばかりであり、会員諸氏に広く末永く継承していく必要があると考え、その道筋をつけること、③いわゆる「地域共生社会」の実現に向けて、いのちと人権を価値基盤とした会の取組として、道内で自殺予防ソーシャルワークの普及啓発をより積極的に推進したいこと。これらを前進させるべく、理事として力を尽くす所存です。						
推薦者-①	山下 浩紀	会員番号	2375				
推薦理由	平田 淳氏は、理事1期2年を経験し、正直なところ苦勞したことも多々あったことと思います。しかし、その苦勞を苦勞と思わない姿勢や、あらゆることに對し疑問を持ち、改善のために知識・技術・ネットワークを駆使していくフットワークの良さには脱帽です。 私は、平田氏が社会福祉士取得を目指す時からの付き合いになりますが、本人の視点の鋭さ、積極性、行動力は、目を見張るものがあり、北海道社会福祉士会の活性化や社会に対するアクションなどに大いに活躍が期待できる人材だと思います。今回の理事選に立候補するにあたり、本人曰く積み残した課題があるとの話を伺いました。それらの課題を解決することが、北海道社会福祉士会の発展につながり、ひいては社会全体の発展に寄与することと思います。以上の理由から、平田氏を理事候補として適任であると確信し、推薦いたします。						
推薦者-②	鈴木 幸恵	会員番号	7965				
推薦理由	平田さんは日常的な業務の他に、この数年間「困りごとなんでも相談会」でも、文字通り様々な領域のクライアントに寄り添う相談支援を積み重ねてきました。豊富な実践経験とともに、平田さんは事例を通して行政にも働きかける行動力があり、この姿勢は職能団体としての活動にも欠かせないと思います。 また、社会福祉士の実践で重要な「人権問題」にも積極的に取り組まれております。以上のことを理由として、道社会福祉士会理事として平田さんを推薦致します。						
推薦者-③	西中 裕一	会員番号	36272				
推薦理由	平田氏は、独立型社会福祉士として7年近くに亘り専門職後見人として道北地区に留まらず北海道内の困難事例も積極的に受任し、ぱあとなあにとって大きな存在です。一方で、北海道社会福祉士会の理事としてこの2年間精力的に会務活動に当たられ、理事就任前から取り組まれている「なんでも相談会」など積極的に関与し、道民の権利擁護を担う社会福祉士として日本社会福祉士会の倫理綱領や行動基準に照らし範を示す存在です。同氏は、会員にとって背中を押していただく存在であり、他会員からも一目を置かれています。平田氏は、社会学(修士)を基礎とし多角的な視点から考察し誠実にソーシャルワーク実践する専門職であり当会の発展に寄与できる逸材として会員理事に推薦します。						